

週刊 エクステリア

EXTERIOR weekly

発行所
株式会社 協 報
発行人 金 井 徹
〒556-0016 大阪市浪速区元町3-10-4(晋陽ビル)
TEL 06-6631-8892 FAX 06-6631-8891
E-mail info@exterior.co.jp
東京 〒101-0035 東京都千代田区神田御園町13
TEL 03-5295-0801 FAX 03-5295-0802
E-mail kyoho@jade.dti.ne.jp
URL http://www.exterior.co.jp/
発行日 毎週火曜日(但し第5週火曜日は休刊)
購読料 年間 23,000円(税別・前納)

続新市場創造記

雪中松 白為 健全

機を見て盛を創る

プライベート(個人住宅)とパブリック(公共)は山の表と裏の関係に例えられる。一見、形はよく似ているけれども、眺めが違う。守る、美観など求められる物は共通しているが吹く風、日の当り方が違っている。反対側を作っている人達と話すと、そのルールが違っていることは前々回の欄で述べた。山の反対側の世界を見た事も経験

プライベートとパブリックの長さの違いである。山を知りたくて一度ぐるが悪く、売上が伴わず採算が合わない。これらをと回って見ると、必要ではないだろうか。どうまく対応する方法はないのか。互いに見える。ちら側が見てもその商材の違っていることや似て

プライベートとパブリック⑤

か覗いてみても意外に踏み込む業者は少ない。たに近い世界が横たわって、それが民需パブリックと呼ばれる分野だ。ば現場が小さ過ぎて効率

るから理解しなければならぬ。もう一つの方法は互いの立場を理

“Weather Exterior” 異常気象とエクステリア

猛暑、豪雨、被災の陰で

地震・台風それらに伴う豪雨など例年にならぬ災害が今年も列島各地に被害を与えた。また、今夏の暑さの厳しさも格別で、7、8月の熱射が外で従事する施工者の前に立ちふさがり市場に影響を与えた。今後もこうした気象の変動にエクステリアは無力のままで疎み続けざるを得ないのだろうか。対応できる事はないのだろうか。大災害は別としても気象に立ち向うことは叶わないのだろうか。現状での気象対応を拾いあげてプロ流通としての構えを考えてみた。新たな市場を生み出すきっかけとしたい。

備えて守る意識をアピール

遮熱関連

なっている日除け材は近がかるが、つた植物を育てる。グリーンカーテを覆う簡易オーニングや

風対策関連

雨水・積雪関連

日射・熱射遮蔽に有効なエクステリア商品はオーニングであることに異存はないだろう。これらでオーニングといえ壁付型が一般的であった。後付けスタイルが中心と

風、特に強風の味方と

土砂崩れなどの災害を阻止することはエクステリアでは難しい。デッキ

収納庫関連

自然災害時に強い味方となるのは様々な物を蓄する倉庫やボックス収納庫も捨て難い。物置・商品を出している他、デ

気象対応エクステリア

気象	商材
風	ブロック塀、板塀
雨	間仕切りパネル、止水板、貯水タンク
雪	折板屋根、ロードヒーティング
日光	オーニング・スクリーン各種日除け
熱射	ストリーム・散水器・遮熱型平板 遮熱型塀・グリーンカーテン・ミスト・パラス
備蓄器	倉庫・収納ボックス

※エネルギー利用型を除く

風、特に強風の味方と

土砂崩れなどの災害を阻止することはエクステリアでは難しい。デッキ

自然災害時に強い味方となるのは様々な物を蓄する倉庫やボックス収納庫も捨て難い。物置・商品を出している他、デ

28